

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第3週 （1月13日～1月19日）

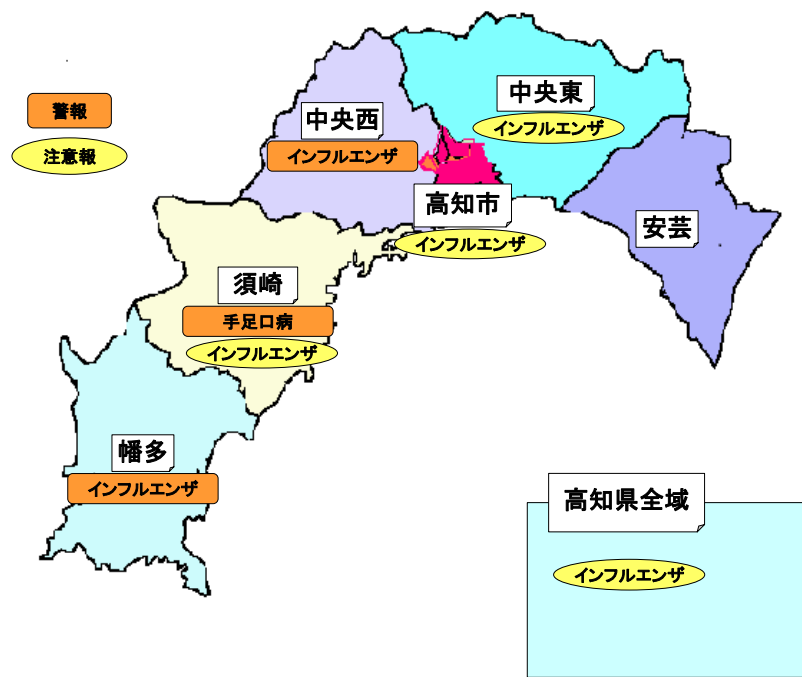
## ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	<span style="color: magenta;">↗</span>	26.58	県全域、幡多、中央西、高知市、安芸で増加し、幡多、中央西では警報値を、県全域、高知市、須崎、中央東では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	<span style="color: yellow;">→</span>	2.93	高知市、中央東で減少していますが、須崎、中央西で急増、幡多、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: blue;">↘</span>	1.73	県全域、高知市、須崎、中央西、中央東で減少しています。
手足口病	<span style="color: red;">↑</span>	0.43	県全域、須崎、高知市で急増し、須崎では警報値を超えています。
伝染性紅斑	<span style="color: blue;">↘</span>	0.37	中央東、中央西で急減、県全域、高知市、安芸で減少していますが、須崎で急増しています。

## ★地域別感染症発生状況



### 【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

#### 咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



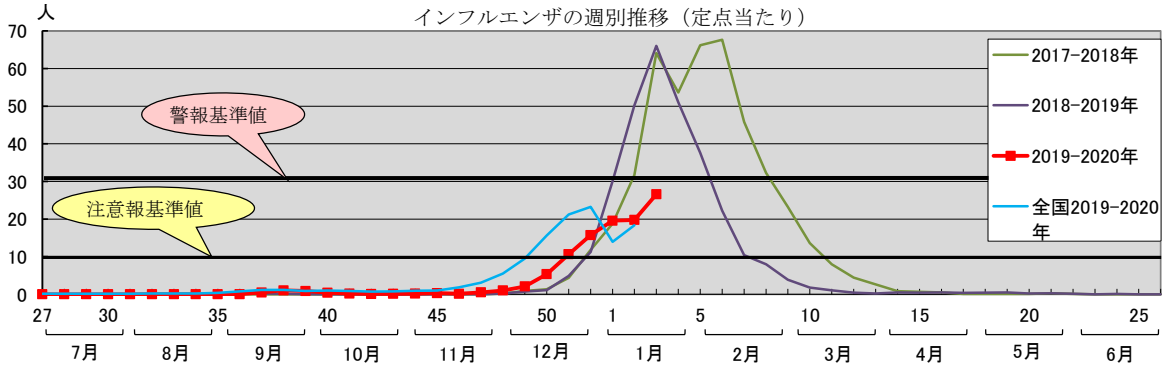
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○インフルエンザが増加し、県全域で注意報値を超えています

学校等における集団発生の報告では、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の報告が続いています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザ A 型 1,211 件、B 型 21 件、不明 44 件の報告があります。

インフルエンザは、流行期にはいつていますので、外出後の手洗いを心掛けましょう。また、症状のある方は、咳エチケットで感染対策し、早めに医療機関を受診しましょう。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。



高知県保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2020年第3週）

	第3週		第2週		第1週		第52週		第51週		第50週		第49週		第48週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	26.58	○	19.77	○	19.56	○	15.73	○	10.65	○	5.35	-	2.08	-	1.02	-
安芸	8.25	-	6.75	-	10.75	○	6.50	-	0.25	-	0.75	-	0.25	-	0.00	-
中央東	18.91	○	16.82	○	13.91	○	11.91	○	6.55	-	2.00	-	0.45	-	0.27	-
高知市	26.81	○	19.56	○	27.00	○	22.63	○	13.75	○	3.63	-	1.38	-	1.06	-
中央西	33.00	△	27.40	○	18.60	○	14.20	○	17.80	○	26.40	○	12.80	○	5.00	-
須崎	20.50	○	20.75	○	14.50	○	8.75	-	6.25	-	5.50	-	1.00	-	0.25	-
幡多	44.88	△	25.50	○	20.00	○	16.25	○	13.00	○	2.50	-	0.50	-	0.38	-
全国			18.33	○	13.93	○	23.24	○	21.22	-	15.62	○	9.52	-	5.52	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
学級閉鎖	第3週	—	—	4	—	—	—	4
	累計	—	—	15	3	—	1	19
学年閉鎖	第3週	2	—	—	—	2	3	7
	累計	2	1	—	4	2	6	15
休校	第3週	—	—	—	1	—	—	1
	累計	—	—	—	1	—	1	2

<予防方法> 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

【学校感染症】

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第 19 条）では、出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日（幼児にあっては、3 日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第 2 種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

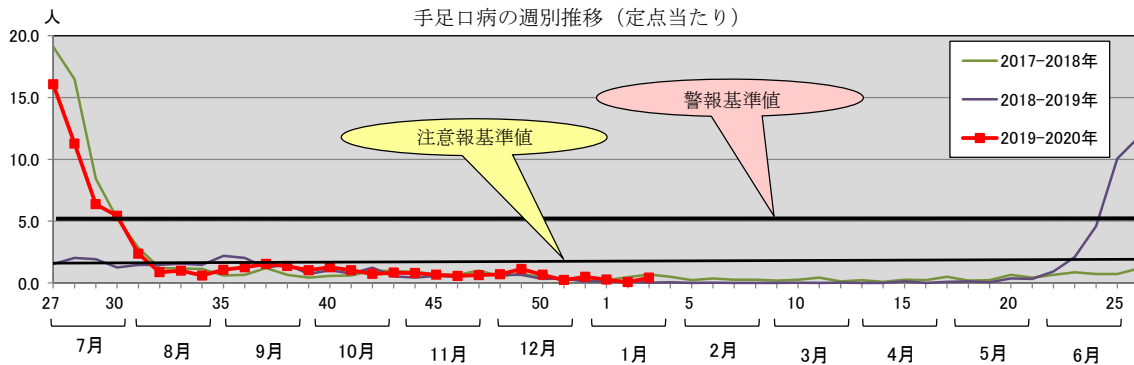
●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infulenza/index.html)

## ○手足口病に気を付けて！

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に主に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



<予防方法> これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

## ☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

## ★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	不明熱	41℃,下痢,腹痛,	7	男	須崎	Human herpes virus 6
						Human herpes virus 7
3	-	-	4	男	幡多	Human herpes virus 6
						Human herpes virus 7
3	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	5	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	37℃,咳嗽,肺炎,	67	男	安芸	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	41℃,咳嗽,	8	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	5	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	40℃,嘔吐,嘔気,	11	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	2	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	39℃,上気道炎,	1	女	幡多	Influenza virus A H1pdm09
3	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	4	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
3	下気道炎	38℃,下気道炎,	1ヶ月	女	幡多	Respiratory syncytial virus A

### 前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	咽頭結膜熱	39℃,咳嗽,上気道炎,結膜炎,	3	男	高知市	Adenovirus 3
2	無菌性髄膜炎	-	1	男	中央東	Coxsackievirus B5
2	流行性耳下腺炎	40℃,腹痛,	6	男	須崎	Mumps virus
2	急性肺炎	37℃,咳嗽,上気道炎,肺炎,	1ヶ月	男	中央東	Rhinovirus
2	急性上気道炎	38℃,咳嗽,上気道炎,	2ヶ月	女	中央東	Rhinovirus

### <国内のインフルエンザウイルス検出状況>

国内のインフルエンザウイルス検出状況は、今シーズン直近5週(2019年第50週~2020年第2週)では、AH1pdm09の検出割合が最も多く96%(476件)、次いでB(ビクトリア系統)が2%(11件)、AH3が1%(7件)となっています。

## ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	1	2	90歳代 女	安芸
4類	レジオネラ症	1	1	70歳代 男	高知市
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	70歳代 男	安芸
	百日咳	1	1	40歳代 女	中央東

★定点医療機関からのホット情報

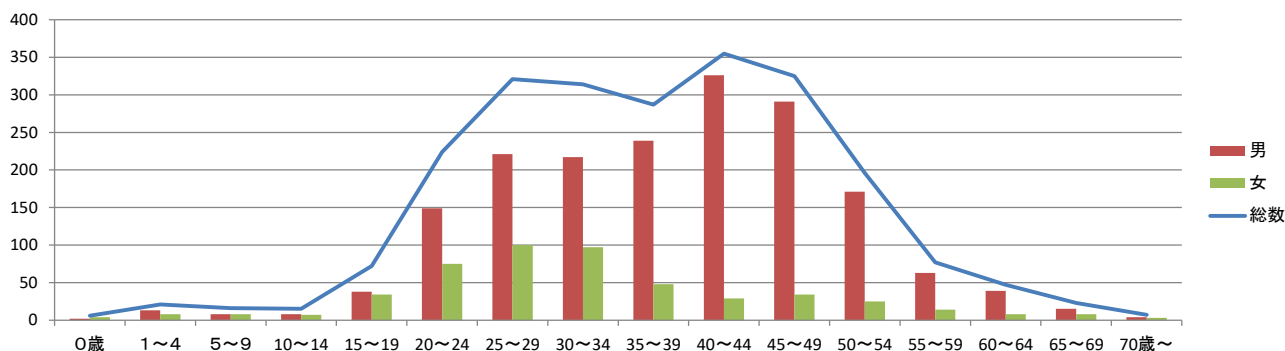
保健所	医療機関	情報
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	hMPV 気管支炎 2 例 (1 歳男女)
	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 12 例 (7 歳～14 歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 3 例 (ワクチン未接種：7 歳男、13 歳男 ワクチン接種済：10 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (7 ヶ月女) ノロウイルス 1 例 (2 歳女) インフルエンザ A 型 2 例
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (10 歳) ノロウイルス腸炎 4 例 (1 歳 2 人、2 歳、6 歳) 病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (10 歳) 病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例 (9 歳) 百日咳 (LAMP 法陽性) 1 例 (7 歳：土佐市)
	三愛病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 20 例 溶連菌感染症 8 例
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例 (9 ヶ月男)
	石黒小児科	インフルエンザ A 型 25 例 (小学児童が増加傾向)
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳男) インフルエンザ 34 例 (A 型 30 人内ワクチン接種 1 回：1 歳男、6 歳男、9 歳男、13 歳男 ワクチン接種 2 回：1 歳男、6 歳男、7 歳男、12 歳男 B 型 4 人内ワクチン 1 回接種：6 歳男 ワクチン未接種：6 歳女 2 人)
	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (6 歳) 手足口病管内保育所で集団発生有り ノロウイルス胃腸炎 2 例 インフルエンザ 33 例 (A 型 32 人、B 型 1 人)
幡多	こいけクリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (2 歳女)
	さたけ小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (1 歳女) インフルエンザ A 型 78 例

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2019 年の累積報告数は 2,306 人、2020 年第 1 週～第 2 週の累積報告数は 11 人となっており、2019 年の報告数のうち 94% (2,176 人) が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心に (男性 1,804 人、女性 502 人) に報告数の多い状態です。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

#### 【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

**対象者**・高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
- ・風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布  
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

**検査受付**：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

**検査結果**：検査後1～2週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

厚生労働省「風しんの追加的対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/index_00001.html)

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

#### 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890\\_00003.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html)

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第20号（高知県衛生環境研究所）30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年1月20日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。



★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第3週 令和2年1月13日(月)～令和2年1月19日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) R1/12/30～R2/1/19	全国(2週末累計) R1/12/30～R2/1/12
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ	33	208	429	165	82	359	1,276 ( 26.58 )	949 ( 19.77 )	90,811 ( 18.33 )	3,164 ( 65.92 )	155,578 ( 32.40 )
小児科	咽頭結核熱			2	1		1	4 ( 0.13 )	15 ( 0.50 )	1,655 ( 0.52 )	26 ( 0.87 )	2,315 ( 0.76 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	33	5	6	4	52 ( 1.73 )	74 ( 2.47 )	7,711 ( 2.44 )	147 ( 4.90 )	9,904 ( 3.24 )
	感染性胃腸炎	5	17	28	7	14	17	88 ( 2.93 )	75 ( 2.50 )	19,275 ( 6.09 )	202 ( 6.73 )	24,568 ( 8.03 )
	水痘		1	5				6 ( 0.20 )	8 ( 0.27 )	2,058 ( 0.65 )	17 ( 0.57 )	3,003 ( 0.98 )
	手足口病			3			10	13 ( 0.43 )	2 ( 0.07 )	622 ( 0.20 )	23 ( 0.77 )	967 ( 0.32 )
	伝染性紅斑	1	1	8		1		11 ( 0.37 )	18 ( 0.60 )	1,982 ( 0.63 )	38 ( 1.27 )	2,471 ( 0.81 )
	突発性発疹	2		1		1	1	5 ( 0.17 )	8 ( 0.27 )	1,014 ( 0.32 )	17 ( 0.57 )	1,298 ( 0.42 )
	ヘルパンギーナ							( )	2 ( 0.07 )	103 ( 0.03 )	2 ( 0.07 )	144 ( 0.05 )
	流行性耳下腺炎							( )	3 ( 0.10 )	180 ( 0.06 )	3 ( 0.10 )	248 ( 0.08 )
	RSウイルス感染症			1			2	3 ( 0.10 )	6 ( 0.20 )	1,023 ( 0.32 )	23 ( 0.77 )	1,677 ( 0.55 )
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	8 ( 0.01 )	( )	11 ( 0.02 )
	流行性角結膜炎							( )	1 ( 0.33 )	464 ( 0.67 )	1 ( 0.33 )	622 ( 0.94 )
基幹	細菌性髄膜炎							( )	1 ( 0.13 )	10 ( 0.02 )	1 ( 0.13 )	13 ( 0.03 )
	無菌性髄膜炎							( )	( )	10 ( 0.02 )	( )	13 ( 0.03 )
	マイコプラズマ肺炎			5				5 ( 0.63 )	3 ( 0.38 )	211 ( 0.44 )	9 ( 1.13 )	285 ( 0.60 )
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	1 ( )	( )	1 ( )
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	1 ( 0.13 )	8 ( 0.02 )	1 ( 0.13 )	16 ( 0.03 )
計 (小児科定点当たり人数)	41 ( 12.25 )	231 ( 22.19 )	515 ( 34.17 )	178 ( 37.33 )	114 ( 36.50 )	384 ( 49.88 )	1,463 ( 32.64 )			127,146	3,674 ( 82.54 )	203,134
前週 (小児科定点当たり人数)	33 ( 9.75 )	226 ( 22.54 )	427 ( 29.45 )	156 ( 33.73 )	103 ( 30.75 )	221 ( 28.90 )		1,166 ( 26.82 )				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

第3週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) R1/12/30～R2/1/19	全国(2週末累計) R1/12/30～R2/1/12
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
インフルエンザ	インフルエンザ	8.25	18.91	26.81	33.00	20.50	44.88	26.58	19.77	18.33	65.92	32.40
小児科	咽頭結核熱			0.18	0.33		0.20	0.13	0.50	0.52	0.87	0.76
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	3.00	1.67	3.00	0.80	1.73	2.47	2.44	4.90	3.24
	感染性胃腸炎	2.50	2.43	2.55	2.33	7.00	3.40	2.93	2.50	6.09	6.73	8.03
	水痘		0.14	0.45				0.20	0.27	0.65	0.57	0.98
	手足口病			0.27		5.00		0.43	0.07	0.20	0.77	0.32
	伝染性紅斑	0.50	0.14	0.73		0.50		0.37	0.60	0.63	1.27	0.81
	突発性発疹	1.00		0.09		0.50	0.20	0.17	0.27	0.32	0.57	0.42
	ヘルパンギーナ							( )	0.07	0.03	0.07	0.05
	流行性耳下腺炎							( )	0.10	0.06	0.10	0.08
	RSウイルス感染症			0.09			0.40	0.10	0.20	0.32	0.77	0.55
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	0.01	( )	0.02
	流行性角結膜炎							( )	0.33	0.67	0.33	0.94
基幹	細菌性髄膜炎							( )	0.13	0.02	0.13	0.03
	無菌性髄膜炎							( )	( )	0.02	( )	0.03
	マイコプラズマ肺炎			1.00				0.63	0.38	0.44	1.13	0.60
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	( )	( )	( )
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	0.13	0.02	0.13	0.03
計 (小児科定点当たり人数)	12.25	22.19	34.17	37.33	36.50	49.88	32.64			82.54		
前週 (小児科定点当たり人数)	9.75	22.54	29.45	33.73	30.75	28.90		26.82				





# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第3週)

